風を愛する白き蘭 ── フウラン（風蘭）のすべて

原産地から生育環境、花の造形美までを紐解くボタニカル・プロファイル



Gemini Notebook

分類
ラン科の常緑性多年草。

環境
土を持たず、樹や岩に
生きる「着生植物」。



花姿
初夏に咲く、甘い香りの
白い可憐な花。

歴史
江戸時代から「富貴蘭」として
愛される伝統園芸植物。

フウラン（*Vanda falcata*）

Gemini Notebook

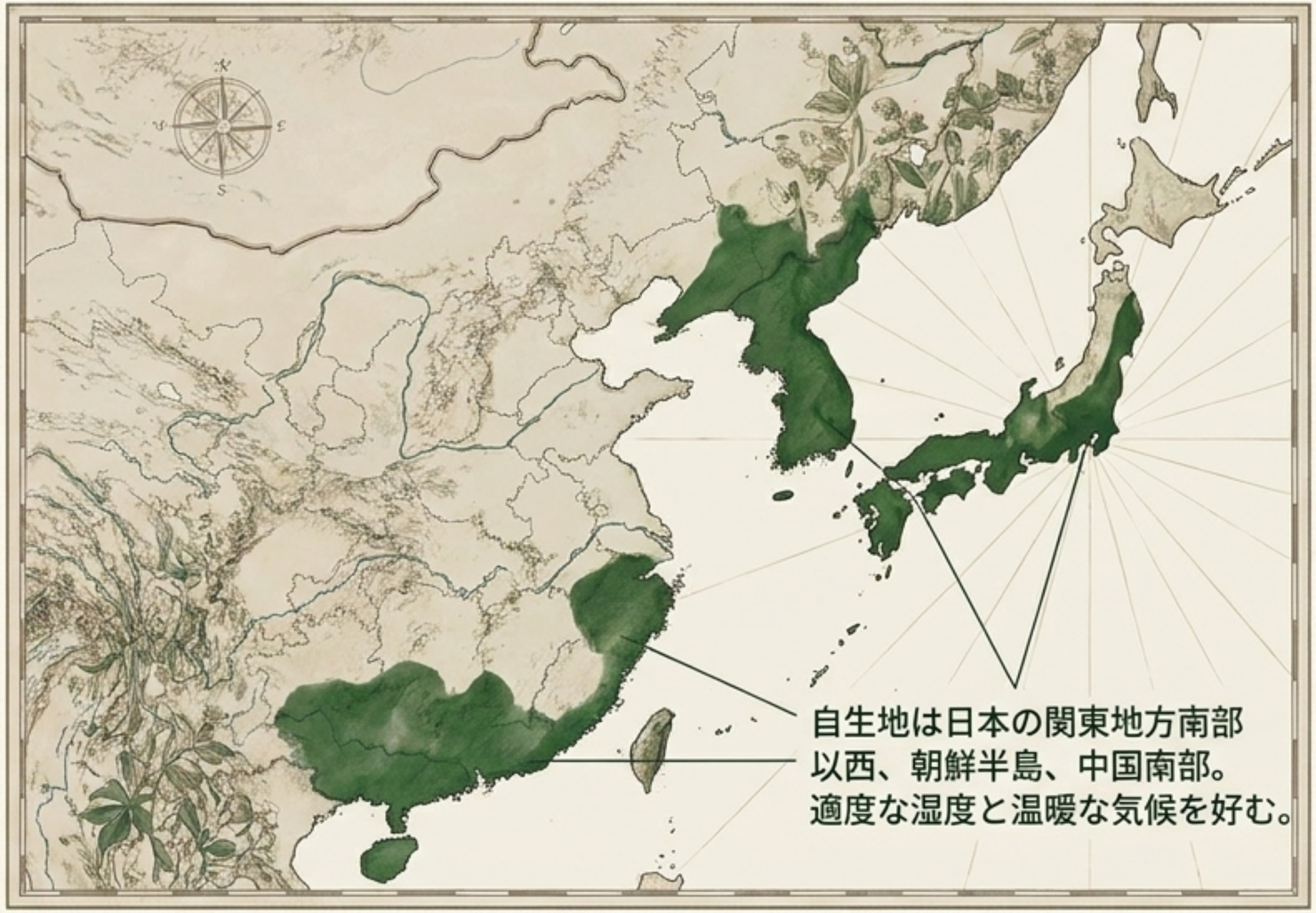
温暖な東アジアの森を故郷とするラン

ラン科
(*Orchidaceae*)

ヒスイラン属 / バンダ属
(*Vanda*)

フウラン
(*Vanda falcata*)

英名 : Japanese wind orchid



Gemini Notebook

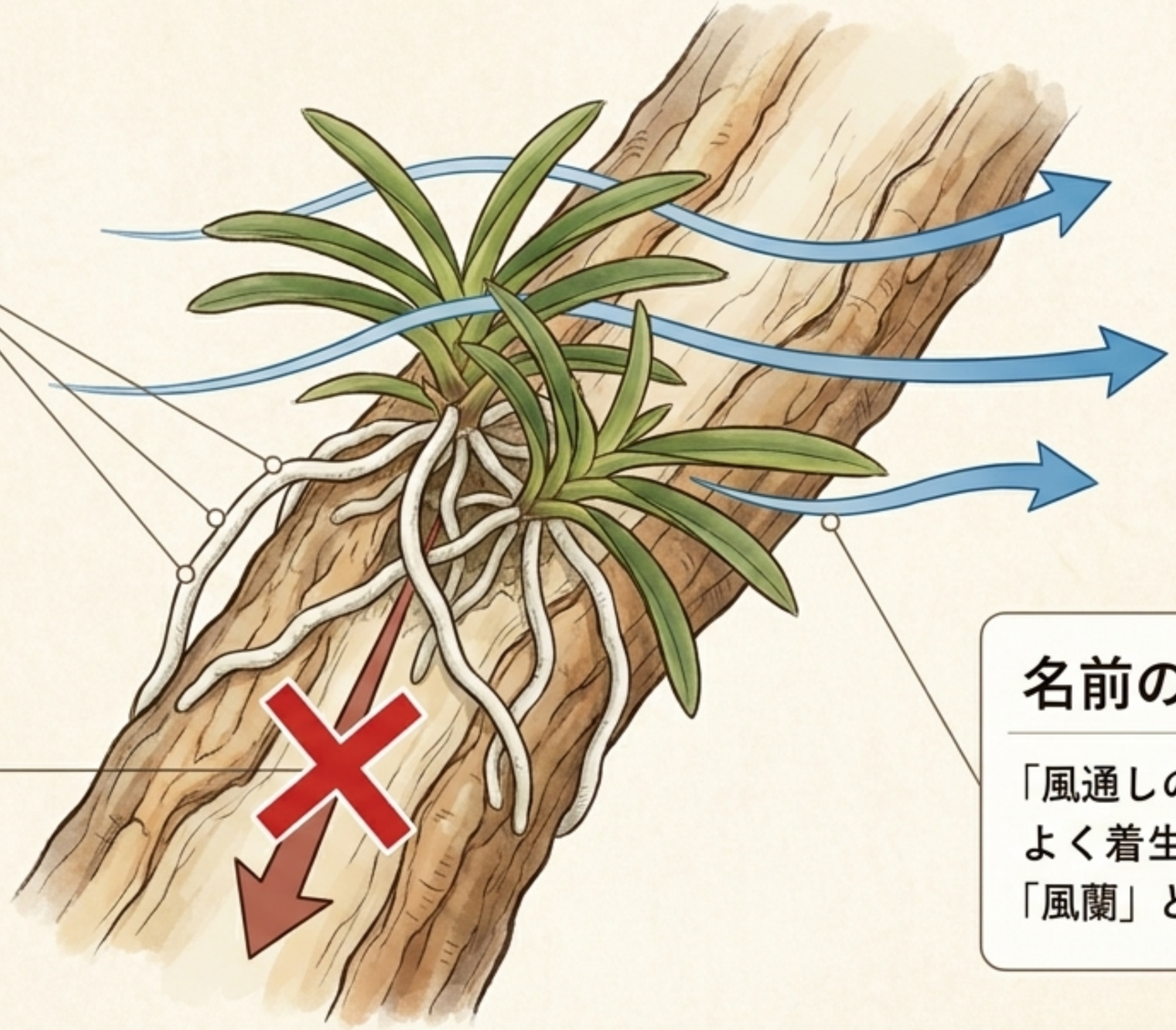
「着生」という生き方 — 風通しを好む生態

気根

白く太い気根（きこん）を長く伸ばし、樹木や岩の上に張り付く。土に根を下ろすことはない。

独立した栄養

寄生ではない。とりついた樹木から養分を奪うことはなく、自立して育つ。



名前の由来

「風通しの良い場所」によく着生することから「風蘭」と呼ばれる。

Gemini Notebook

手のひらに収まる強靭な草姿

茎

ほとんど見えず、短く直立している。

葉のサイズ

長さ5〜10cm、幅約7mm。



葉の質感

革質（かわしつ）。革のように厚く丈夫で、一年中緑を保つ。

葉の縁

全縁（ぜんえん）。縁が滑らかでギザギザがない。密に重なり合うように生える。

Gemini Notebook

魅惑の造形美 — 5弁の花と不思議な「距」

花弁

白く細長い5枚の花弁。上に3枚、下に2枚が反り返るように咲く。

唇弁（リップ）

花の中心にあり、前に突き出して3つに分かれる構造。





距（きょ）

フウラン最大の特徴。花の下から長く伸びて垂れ下がり、先端が前を向く管状の器官。ツボミ（※左下図）の段階からすでに目立つ健気な姿を見せる。

Gemini Notebook

初夏の訪れを告げる清楚な香りと開花



咲き方

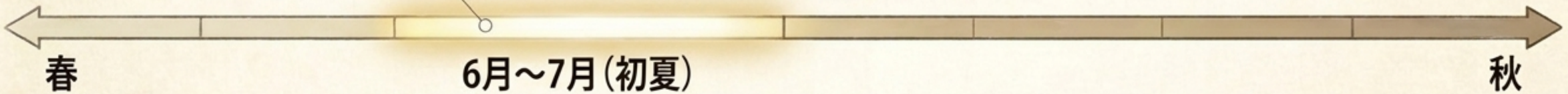
葉の間から伸びた花茎の先に、3〜5個の花が皆「前を向いて」咲く可憐な姿。

香り

周囲に非常に良い香りを漂わせる。

花期

6月〜7月（初夏）。



Gemini Notebook

伝統と文化 ―「風蘭」から「富貴蘭」へ

風蘭（野生）



過酷な自然環境の岩や樹木に着生し、風を味方につけて生き抜く強靭な野草。

富貴蘭（園芸）



江戸時代（元禄時代）から愛される伝統園芸植物。非常に高価であり、裕福な（富貴な）人々しか楽しむことができなかったことからこの名がついた。

花言葉：「恋の成就」「真の魅力」「霊感」「神通」― 11月23日の誕生花（独特の惹きつける造形に由来）。

Gemini Notebook

結び — 白き芸術品の真価

環境の克服

土を持たず、風と樹に
寄り添う自立した生命力。

緻密な造形

「距」や反り返る花弁が
織りなす、初夏の香りと
造形美。



過酷な自然を生き抜く野性味と、
人々を魅了する至高の気品。
フウランは、日本の美意識を
体現する生きた芸術品である。

歴史の継承

江戸の愛好家たちが見出し、
現代まで受け継がれる
「富貴蘭」としての気品。

歴史の継承

江戸の愛好家たちが見出し、
現代まで受け継がれる
「富貴蘭」としての気品。

Gemini Notebook